

2022年11月10日、フォーラムエイト・ラリージャパン2022が開幕します。
2年連続での中止を経て、待望の開催となります。

2010年の北海道開催から12年ぶりとなる今年は舞台を愛知・岐阜両県に移して世界の競合が覇を争います。

トップドライバーの走りはどんな迫力なのか、初めて見る新レギュレーション Rally1車両の実力は、そして2004年のSUBARU インプレッサS10以来となる日本メーカーの地元勝利はなるのか…、期待は高まります。

このラリージャパンを会期のスタートとして、当館では企画展「WRC 日本車挑戦の軌跡」を昨年に引き続き開催いたします。

今回もWRC参戦経験のある日本車メーカー7社の協力で、当館初登場を含む貴重な歴史的車両がズラリと並びます。2.5次元空間もパワーアップし、ラリー車とマンガ背景のコラボレーションに、より没入していただけることでしょう。ラリーの「いま」の熱気を感じながら、WRCの系譜をお楽しみください。



三菱 ランサー2000ターボ (1982)



日産 サニーGTI-R (1991)



ダットサン1800SSS (1973)



スバル インプレッサS14 WRC'08 (2008)



トヨタ セリカGT-4 (1990)

※車名表記は当時のWRC登録名称に基づいています。

2022 富士モータースポーツミュージアム 10.7 OPEN

モータースポーツがクルマを鍛え、進化させた熱い歴史をたどる
最高峰レースに出場した伝説の車両や日本初公開の車両が含まれる約40台を一堂に展示します



トヨタ博物館 TOYOTA AUTOMOBILE MUSEUM

【開館時間】 9:30~17:00 (入館受付は16:30まで)
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/24(土)~1/3(火)
※急遽変更になる場合がありますので当館HPをご確認ください
【入場料】 大人1,200円 シルバー(65才以上)700円
中高生600円 小学生400円
※(消費税込み)団体割引あり ※小学生無料期間:1/4~9.3/18~4/9

〒480-1118 愛知県長久手市横道41-100
Tel. 0561-63-5151
<https://toyota-automobile-museum.jp/>



リニモ(東部丘陵線)「芸大通駅(トヨタ博物館前)」で下車(1番出口)、徒歩約5分
名古屋瀬戸道路「長久手IC」より西へ0.4km(東名高速道路日進IC経由)

新型コロナウイルス感染防止のため、来場者の皆さまに、次のご協力をお願いしています

- ・37.5度以上の発熱、倦怠感があるなど体調不良の際はご来館をご遠慮ください。
- ・ご来館時、サーモグラフィで発熱が検知され、再検温で37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場をお断りさせていただきます。
- ・混雑時、入場制限をする場合があります。



“ハッシュタグ”をつけて楽しい思い出をシェアしよう!

#トヨタ博物館

#toyotaautomobilemuseum

協力: スズキ(株) (株)SUBARU ダイハツ工業(株) 日産自動車(株) マツダ(株) 三菱自動車工業(株)